



探究のタネを見つける会 in WAKAYAMA を開催！

10月3日（金）、探究に携わるすべての教育関係者を対象に「探究のタネを見つける会 in WAKAYAMA」を開催しました。株式会社ベネッセコーポレーション大阪支社とのコラボ企画です。株式会社ベネッセコーポレーションベネッセ教育総合研究所主席研究員かつ独立行政法人教職員支援機構（NITS）フェロー／フェローコーディネーターである山下真司氏に、『「探究」の現在地とこれから』と題してご講演いただきました。その後、株式会社ベネッセコーポレーション大阪支社（奈良・和歌山県担当）の石田智美氏に各校の実践事例をご紹介いただき、情報交換会を行って閉会しました。「探究するとはどういうことか」、「探究的な学びをつくるとはどういうことか」等、本質的な問いについて理解を深めることができました。



第69回日本学生科学賞（和歌山県審査）にて大健闘！

「第69回日本学生科学賞」の和歌山県審査が行われ、本校生徒の2つの研究が受賞し、中央予備審査（全国予備審査）へと進むことが決定しました。研究テーマは以下のとおりです。

県知事賞「2種の外来魚の生息環境と食性調査～和歌山県紀の川下流域小豆島周辺の調査～」

3I 木村俊介, 3I 永井康喜, 3H 林瞬志, 3I 中尾晟玄, 3H 栗栖祐喜

県議会議長賞「カエデの種子を用いた風力発電の風車の開発」

3I 岸本彩乃, 3H 柏田奈緒, 3I 三島有央, 3H 除田望央

宮城県仙台第三高等学校で教科等横断型授業をさせていただくことができました！

SSH指定校である宮城県仙台第三高等学校では、例年SSH中間報告会・授業づくりプロジェクトフォーラムを開催しており、大学教員による基調講演や、先進的な授業を実践されている学校教員による公開授業等を行っています。今年度は、本校の谷地祐介教諭（理科）と山本玄教諭（国語科）が講師として招聘され、化学と古典を融合させた教科等横断型授業を実施する予定です。



生徒たちの研究成果を確かめる審査員（和歌山市で）

第69回日本学生科学賞
（読売新聞社主催、旭化成協賛）の県審査が7日、和歌山市の読売新聞和歌山支局であった。最高賞の県知事賞には県立向陽高の5人が取り組んだ「2種の外来魚の生息環境と食性調査」が輝いた。

5人は紀の川でも確認されているという特定外来生物のオオクチバス、ブルーギルの食性などを調べ、ま

県議会議長賞には同高の4人による「カエデの種子を応用した風力発電の風車の開発」、県教育委員会賞

には県立田辺中3年の津田善士君の「ミスカマギリの生息場所の嗜好性」がそれぞれ選ばれた。3作品は11月15、16日に行われる中央予備審査に進む。

このほか、読売新聞社賞には県立日高高の4人による「紀州備長炭とコーヒークスを使った消臭剤について」が選出された。

学生科学賞
向陽高5人県知事賞
県審査3作品中央予備審査へ

楽器のナルミ (422) 3735
楽器の買取りも致します

【10月の主なSSH事業の予定】

- 11日（土）きのくに科学オリンピック【有志3チームが参加予定】
 - 15日（水）～16日（木）国際科学交流（DGS）
 - 16日（木）DGSとの共同実験講座（高1希望者）
 - 23日（木）SSH先端科学講座（政治経済）（高2文系）
 - 28日（火）KOYOサイエンスデイ（高2環境）
- 第2回向陽SSH運営指導委員会

2025年10月8日

読売新聞

和歌山大学教育学部の古賀 幸、県教育センター学びの
推進教授と県教委県立学校 丘の後藤真吾指導主事が審
判委員の崎山智昭指導主 査員を務めた。